

会員各位

茨城県歯科医師会

会長 森永 和男

## シンポジウムのご案内

秋冷の候 先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先日ご案内しました本会主催のシンポジウム『「かかりつけ歯科医」のいる人はなぜ長寿なのか』につきまして、まだ会場に若干の余裕がございますので、改めてご案内いたします。

かかりつけ歯科医をもつことがなぜ健康長寿につながるのか、調査研究データからそのメカニズムを「ピンピンコロリの法則」の著者でもある星先生に明示して頂きます。高橋先生には、行政とのかかわりを通して杉並区歯科保健医療センター長の時に行われた口腔ケア等のデータから、かかりつけ歯科医としての機能を充実させる大切さ、さらには歯科界の現状と将来展望についてお話し頂きます。

歯科医療の充実が、国民の健康長寿の源であるという事は周知の事実であり、かかりつけ歯科医の大切さをアピールし、健康な高齢者を増やすことが歯科医師の評価を高めることにつながると考えます。今回、歯科医師自身が、その重要性を再認識すべくシンポジウムを企画いたしました。この機会を見逃すことなく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

### 記

#### シンポジウム：「かかりつけ歯科医」のいる人はなぜ長寿なのか

- **日時：** 平成 25 年 10 月 20 日（日曜日） 10:00～16:00
- **場所：** 茨城県歯科医師会館 3 階講堂
- **講演：**
  - 【講演 1】 なぜ、「かかりつけ歯科医師」がいる人は長生きなのか  
～健康長寿を支える口腔ケアとピンピンコロリの法則～  
星旦二先生（首都大学東京 大学院教授）
  - 【講演 2】 これからの歯科医としての「あるべき姿」を再考する  
高橋英登先生（東京都杉並区 開業、東京都歯科医師連盟 会長）
- 【ディスカッション】 進行： 茨城県歯科医師会学術委員長 杉田裕一
- **募集人数：** 100 名
- **対象：** 茨城県歯科医師会会員、会員歯科医院勤務者、県内歯科衛生士会会員、県内病院歯科勤務者、県外日本歯科医師会会員、他
- **参加費：** 1,000 円（昼食代込）
- **申込方法：** 別紙申込書を用いて、茨城県歯科医師会事務局まで FAX にてお申し込みください。  
申し込みは受付順となります。定員になり次第締め切らせていただきます。  
（※詳細は別紙申込書を参照下さい。）
- **事前質問：** 今回のシンポジウムに関連する事前質問を募集いたします。  
学術委員会メールアドレス《 ibagaku.jyutu@gmail.com 》までお願いします。
- **問い合わせ先：** 学術委員長 杉田裕一 Phone : 0293-24-3911, e-mail : ibagaku.jyutu@gmail.com

## ◆ 講演抄録 ◆

### ◇ 講演1 ◇ なぜ、「かかりつけ歯科医師」がいる人は長生きなのか

#### ～健康長寿を支える口腔ケアとピンピンコロリの法則～

早世を予防し、健康で長寿を全うする健康長寿を維持していくことを目標としたのが、健康日本21です。そのための方法の一つに、口腔ケアが明示され、様々な達成すべき目標値が設定され、口腔ケアでは大きな成果が得られています。今回は、健康長寿を維持するための具体的な新しい方法論の一つである口腔ケアに焦点を当てて、歯科医院を受診した人々が、歯科医師や歯科衛生士による支援を得て、口腔ケア機能が発揮され、その後の健康長寿の維持に寄与できる科学的なメカニズムを明確にしたいと思います。

著者らは、東京都多摩市の協力とともに、多摩歯科医会との協働調査により、都市部在宅居住高齢者約13,066人の健康について、2001年よりかかりつけ歯科医師がいる群といない群に分けて追跡し、三年間の累積生存率を調査すると、かかりつけ歯科医師がいる群の累積生存率が統計学的に有意に維持されることを報告してきました。その後六年間の累積生存率を追跡しましたが、かかりつけ歯科医師の有無による生存率の較差は更に大きく広がっていきました。

かかりつけ歯科医師がいることで、歯科衛生士による口腔ケアに関する健康支援活動が加わり、好ましい口腔ケアづくりに寄与し、受診者の精神的、身体的、社会的健康度を維持することにも連動し、結果的に生存維持に繋がるであろうとすることが推定できます。その仮説レベルの部分を中心に港区芝歯科医師会と共同で実施してきた研究成果をご紹介します。

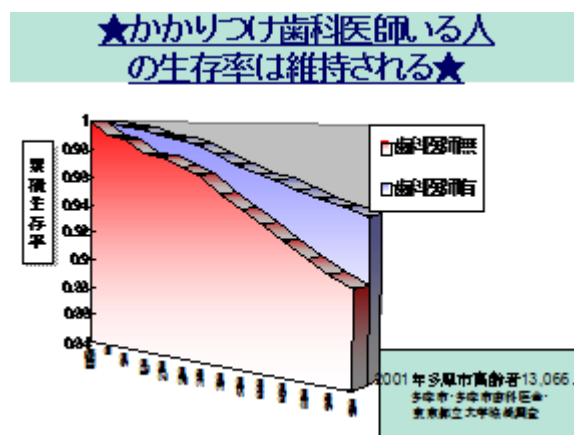


図 かかりつけ歯科医師の有無別に見た三年間の累積生存率

### ◇ 講演2 ◇ これからの歯科医としての「あるべき姿」を再考する

歯科医として一番の幸せを感じられること、そして歯科医冥利につきは患者さんから喜ばれ感謝されることである。我々は患者さんからの「ありがとう」に背を押されて診療をしていると言っても過言ではない。

超高齢社会を迎えた我が国のこれからの歯科医の仕事として、「生涯自分の口からおいしく食べる！！」という願いを叶えてあげること、そして「終生あなたのお口の健康は私が守ります！！」という姿勢が患者との信頼を築く上での「礎」となるのである。

私も開業して35年、60才から診ている患者さんは95才である。当然のことながら認知症を患っている人、運動機能の低下によりお家から出られなくなってしまった人、寝たきりになってしまった人等々、そうした患者さんが在宅診療を待ち望んでいる。そしてそれらの患者さんは、終生自分の口からおいしく食べたいと切望している。

これぞ歯科医の出番！！歯科医冥利につきは仕事があるここにあるではないか。ニーズがあり、患者さんが求めているのだから患者さんへ向かい、おいしく食べられるようにしてあげる。誤嚥を防ぎ、いつまでも摂食機能を低下させないようトレーニング法を伝授する、唾液腺機能を低下させないよう唾液腺マッサージをする等々、これらは「かかりつけ歯科医」として当然やるべきことなのである。

「あなたの食は私が生涯守ります！！」これほど患者さんにとってインパクトのある言葉はありません。そしてこれは歯科医の矜持なのである。

◆ 講師略歴 ◆



【 星 旦二先生 ご略歴 】

1950年、福島県生まれ。首都大学東京・大学院教授。福島県立医科大学を卒業し、竹田総合病院で臨床研修後に、東京大学で医学博士号を取得。東京都衛生局、厚生省国立公衆衛生院、厚生省大臣官房医系技官併任、ロンドン大学大学院留学を経て現職。公衆衛生を主要テーマとして、「健康長寿」に関する研究と主張を続ける。

著書『ピンピンコロリの法則 ～おでかけ好きは長寿の秘訣～』

(ワニブックス・2010年)

『公衆衛生』(医学書院・2013年)



【 高橋英登 先生 ご略歴 】

- 昭和52年 日本歯科大学歯学部 卒業  
日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第II講座入局
- 昭和54年 東京都杉並区に井荻歯科医院開設
- 昭和60年 金属と陶材の溶着に関する研究で歯学博士 授与
- 昭和62年 日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第2講座 講師
- 昭和63年 東京都国民健康保険診療報酬審査委員 (平成12年まで)
- 昭和63年 日本接着歯学会 編集委員 (平成12年まで)
- 平成5年 日本補綴歯科学会指導医 認定
- 平成7年 日本歯科医師会生涯研修講師 (平成7年度8年度)
- 平成13年 日本歯科医師会診療情報提供に関する検討委員会 委員  
(平成14年まで)
- 平成13年 日本接着歯学会 理事 (平成21年まで)
- 平成15年 東京都杉並区歯科医師会 理事  
(学術担当平成15年度16年度)
- 平成15年 東京都歯科医師会 保険指導員 (平成19年まで)
- 平成18年 日本歯科医師会社会保険委員会委員
- 平成19年 東京都杉並区歯科医師会 会長 (平成25年まで)
- 平成21年 日本歯科医師連盟 常任理事  
日本歯科医師会国民歯科医療のあるべき姿委員会委員  
(平成22年まで)
- 平成22年 日本接着歯学会 副会長 (現在に至る)
- 平成23年 日本歯科大学校友会 常務理事  
杉並区歯科保健医療センター センター長  
日本歯科大学生命歯学部 客員教授 (現在に至る)
- 平成25年 東京都歯科医師連盟 会長  
日本歯科医師連盟 副会長

◆ 申し込み方法 詳細 ◆

【茨歯会会員・会員歯科医院勤務者】

茨歯会事務局へ下記申込用紙を用い、FAX（029-253-1075）にて申し込みください。後日、申し込み確認書を事務局より送ります。シンポジウム当日、受付にて参加費をお支払い下さい。10月11日以降のキャンセルで次の参加者が見つからない場合、参加料をご負担いただきます。

【会員外】

茨歯会事務局へ下記申込用紙を用い、FAX（029-253-1075）にて申し込みの上、申込書を添えて参加費を現金書留にて茨歯会事務局までお支払い下さい。Fax 到着後 10 日以内に正式申込（入金）が確認できないときにはキャンセルと見なし、キャンセル待ちの方がいる場合にはその方に連絡をいたします。後日、事務局より申し込み確認書を送ります。

10月20日（日曜）シンポジウム参加申込用紙

シンポジウムに参加したく参加費（1名につき1,000円：下記注）を添えて申し込みます。

平成25年 月 日

・氏名 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

・所属（勤務先名） \_\_\_\_\_

・住所：〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

・Phone： \_\_\_\_\_ ・Fax： \_\_\_\_\_

・e-mail： \_\_\_\_\_

希望連絡方法（Fax・e-mail）←○を：ご希望以外（電話など）の方法を使用することもあります。

送付先：〒310-0911 水戸市見和2-292 茨城県歯科医師会 事務局

FAX： 029-253-1075

(注)・会員・会員歯科医院勤務者はFAXにて申し込み当日支払い

・会員外は参加費を添えて申し込み